

We Craft Your Imagination.



第4期 第2四半期 株主通信

2018年1月1日～6月30日

BUSINESS REPORT



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP



2018年9月

代表取締役社長

藤田 一郎

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、株式会社日本創発グループ第4期第2四半期（2018年1月1日から2018年6月30日）の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当社企業グループは、クリエイティブサービスを事業とし、お客様が創造性（クリエイティブ）を表現するために必要である多様なソリューションを提供するため、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、幅広いビジネスを積極的に展開、推進しています。

当第2四半期連結累計期間においては、日経印刷をはじめ、昨年グループ参画した企業の業績が加わり、大幅な増収となりました。一方、情報インフラおよび事業所の整備を積極的に行い、一部子会社の事業所および設備を移転することで、事業シナジーを強化したことにもなう費用が増加いたしました。第3四半期以降に、営業上や経費削減の効果が実現できると想定しています。

また、4月には、取り扱い商材の強化を目的に、ポリエチレンパッケージ製品の企画・製造・販売を行っているカタオカプラス株式会社を子会社といたしました。さらに6月には、持分法適用関連会社であった田中産業株式会社との資本業務提携を強化し、その子会社である株式会社MGSを含め、両社を連結子会社といたしました。田中産業およびMGSの業績は、第3四半期より連結子会社としての連結業績に加わることになります。

当社グループは、特色ある事業を行う企業が専門とする技術およびノウハウと、最新設備を備えたグループインフラを活用し、様々なクリエイティブニーズを確かなカタチとして提供しています。また、お客様に、プロフェッショナルサービスをワンストップで提供できるようグループ間の支援体制を整え、ソリューション営業を行っています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高240億91百万円（前期比40.6%増）、営業利益は6億71百万円（前期比6.9%減）、経常利益7億65百万円（前期比3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億91百万円（前期比45.8%増）となりました。

当社企業グループは、今後もお客様にとって必要不可欠な企業集団として、クリエイティブサービス事業を軸にビジネス展開を積極的に推進することで、株主のみなさまのご期待に応えるべく努力してまいります。

売上高

24,091 百万円

前年同期比 +40.6%

営業利益

671 百万円

前年同期比 ▲6.9%

経常利益

765 百万円

前年同期比 +3.4%

親会社株主に
帰属する当期純利益

591 百万円

前年同期比 +45.8%

今期の事業戦略

クリエイティブをサポートし、 多様なソリューションを提供します。

私たちのビジョンは「We Craft Your Imagination」お客様の思いをカタチにするお手伝いをする事です。

お客様が伝えたいのは誰なのか、何を伝えたいのかを、お客様とともに考え、喜びや感動とともに伝えるための表現力を常に磨き続けています。グループ会社が持つ技術やノウハウを共有し、活用していただくアイデアをご提案して実現する、その提案力と実行力を高めてゆくことを追求しています。

社会の変化や技術の進化に伴い、表現する力が求められる分野が大きく広がっています。表現する物も、紙・その他の素材への印刷だけではなく、映像、web、スマートフォンやタブレットなどのデジタルデバイス、さらには、電車、車、建物など、これまで考えていなかった物や場までも、表現物として活用されるようになりました。それらを可能とするための技術として、コンピューターグラフィックの技術をはじめとしたweb・AR・VRなどのシステム開発技術、さまざまな印刷技術と加工技術、物とインターネットを融合したIoTでは、集積したデータを解析する技術も必要です。

今期は、新たに加わった企業や、持分法適用関連会社との関係を強化し、第3四半期から連結子会社とする2社を加え、第2四半期末において、連結子会社26社、持分法適用子会社16社、持分法適用関連会社6社を合わせ48社の企業グループとなりました。

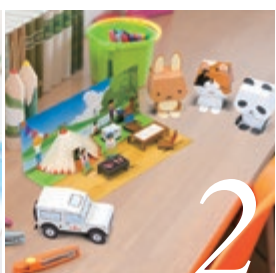
クリエイティブインテグレーション

お客様の思いに、しっかりとお応えするためには、個性的な専門性、実現するための生産性、そしてソリューション提案力の3つが必要だと考えています。グループが拡大することにより、その取扱い商材が広がっています。当社グループの商材分野は、印刷物、特殊な印刷技術を活用した付加価値印刷物、デジタルコンテンツ、データ解析を含めたマーケティング技術、3Dプリンター、プロモーションのためのカプセルトイ、文具など、さまざまな場面で、それらを組み合わせた多様な表現が可能です。

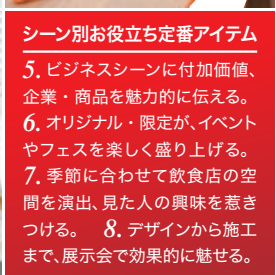
私たちは、お客様に、ワンストップサービスで、さらに付加価値の高いご提案をしています。

マーケティング・SP(セールスプロモーション)分野

物やサービスがあふれる現代の市場で勝ち抜くためには、マーケティングという視点を持った戦略・戦術が重要です。生活者の心を動かし、行動へと導くためにはニーズのその先にあるベネフィット・インサイトを捉えることが大切であると考えます。店頭でのマーケティングをはじめ、ビックデータの分析などを行い、効果的なプロモーション方法を構築し、お客様の思い描くイメージーションをデザインというカタチにするために、あらゆる領域におけるコミュニケーションツールも開発提案しています。



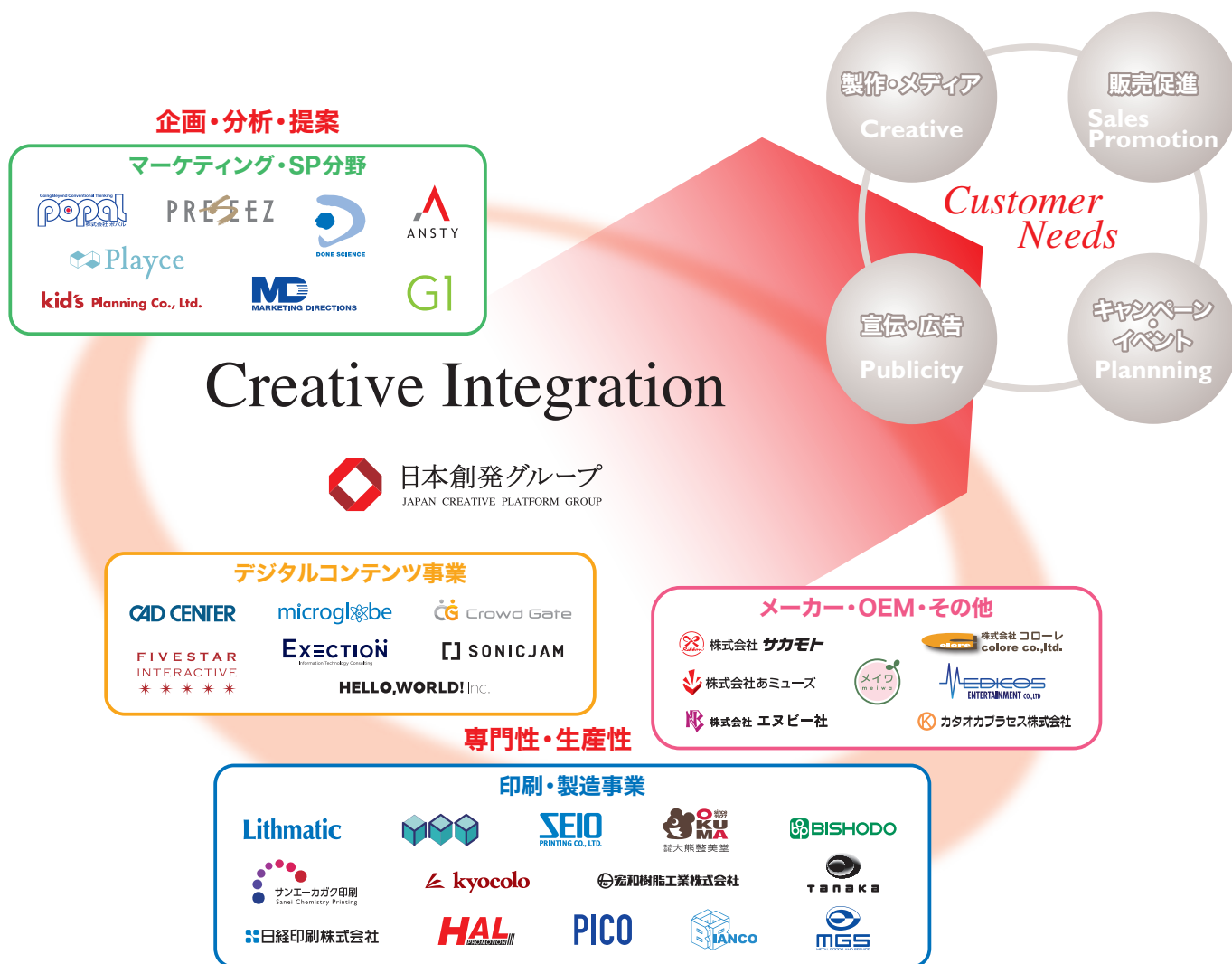



アイディア満載の最旬アイテム

1. 記念品・ノベルティの新定番にオリジナル フレーム切手®。
2. コミュニケーションツールとして大活躍、オリジナルペーパークラフト。
3. かざすだけでスペシャルコンテンツへジャンプ、TOUCHCARD®。
4. より個性的に、表面加飾サービス。

シーン別お役立ち定番アイテム

5. ビジネスシーンに付加価値、企業・商品を魅力的に伝える。
6. オリジナル・限定が、イベントやフェスを楽しく盛り上げる。
7. 季節に合わせて飲食店の空間を演出、見た人の興味を惹きつける。
8. デザインから施工まで、展示会で効果的に魅せる。



印刷・製造事業

一般的な商業印刷に限らず、立体物や、紙以外の媒体、またコレクションアイテムとして特色ある印刷物へのニーズは引き続き堅調に推移しています。セールスプロモーションのためのコミュニケーションをより具体的なカタチとするため、印刷からセットアップまでをワンストップで提供しています。また専門設備を取りそろえたサインディスプレイ生産工場では、大型ディスプレイ用印刷や、等身大の立体造形物の形成が可能な大型3Dプリンターなど、エキスパートたちの技術・ノウハウを組み合わせた高品質な製品をお届けいたします。事業規模の拡大とともに、情報システムへの投資や人材の交流、生産拠点の整備などを順次行いながら、生産性や利益率の向上を追求しています。

デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツによる表現は、リアルとバーチャルをつなぎ、能動的に共感を表現するクリエイティブメディアとして発展し続けています。2D・3Dグラフィック、映像・音響制作から、VR・AR・MRなどの技術を組み合わせることで、見た人に驚きと感動を、直感的に体験いただけます。受託制作とともに、開発したデータまたは、アプリケーションの販売による拡大が期待される分野となります。一方で最新の技術を開発するための技術者養成事業も行っています。

メーカー・OEM・その他

お客様のより近くで独自のクリエイティブを提供展開できるのが、メーカー機能です。ご利用いただく方々の評価を反映させ、より良い商品を製造することを大切にしています。バック・ポーチなどの布製ノベルティ、キャラクターグッズ、フィギュア、文具雑貨や、さまざまなイベントなどにご利用いただけるカプセルトイ（ガチャ）の企画販売なども行っています。B2Cマーケットに対しては、DECOチョコショップを東京と大阪に展開しております。また、商品の販売管理や製造コントロールに関するノウハウを構築しECサイトでも販売しています。今後は、グループ内ソリューションを活用し、積極的な展開を企画してまいります。

2020年の東京オリンピックパラリンピックの開催などに向けて、日本のクリエイティブ分野マーケットの成長が期待されています。一方で、対応するための強固な経営体質と人材の強化も求められています。当社では、それぞれの企業の専門性を組み合わせることで、新しい価値を創出し、クリエイティブをサポートするユニークな企業集団として、さらに企業価値を高めてゆきたいと考えております。

2018年上期 新規グループ加入会社紹介

カタオカプラスチック株式会社

K カタオカプラスチック株式会社



大型自動製袋機をはじめとする機械や、自動製袋機では作成不可能な大型の加工にも対応できる広大な作業場など、業界屈指の設備を誇ります。自慢の設備を武器に、「モノ作り」へのこだわりの心を持ち、お客さまのあらゆるご要望に柔軟に対応いたします。



■ 会社概要

商 号	カタオカプラスチック株式会社
代表取締役	片岡 睦子
創 立	1966年3月
資 本 金	8,000万円
従 業 員 数	9名(2018年6月30日時点)
本社所在地	千葉県柏市逆井431-10
U R L	http://www.kataoka-gr.co.jp/

田中産業株式会社



「他社がやらない事、できない事」を合言葉に、印刷用フィルムシートの製造、紙・フィルム・金属への印刷、クリアファイルやクリアパッケージなどPP・PET製品の製造、日本最大級のオフセット印刷による大型印刷物・大型タペストリー、シルク印刷による点字絵本を提供しています。



■ 会社概要

会 社 名	田中産業株式会社
代 表 者	田中 裕
創 立	1953年3月8日
資 本 金	8,000万円
従 業 員 数	166名(2018年6月30日時点)
所 在 地	埼玉県さいたま市中央区本町西4-16-15
U R L	http://www.printer-tanaka.co.jp/

株式会社MGS



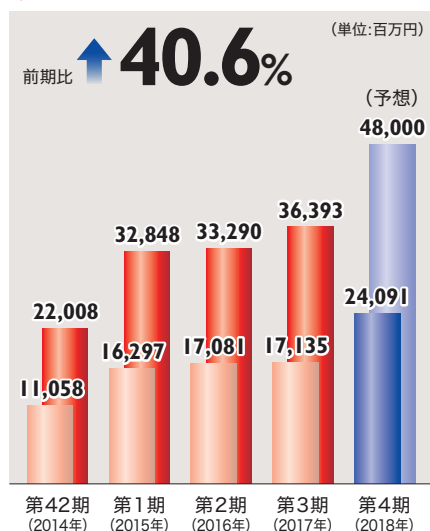
「新しい発想や技術で外装に新たな価値をもたらす缶メーカー」を合言葉に、ブリキ缶、プラスチックと金属容器を組み合わせた缶、化粧箱、貼り箱、PP・PET製パッケージを提供しています。商品企画・デザイン提案から、金型設計・製造、金属印刷、プレス・製缶の一貫生産で、高品質な製品・サービスを実現します。



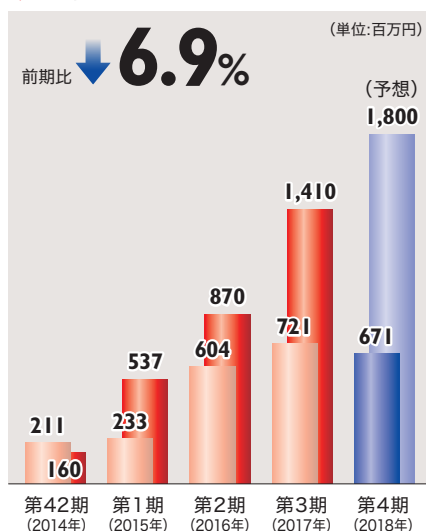
■ 会社概要

会 社 名	株式会社MGS
代 表 者	田中 裕
創 立	2008年3月24日
資 本 金	8,000万円
従 業 員 数	72名(2018年6月30日時点)
所 在 地	茨城県坂東市菅谷2230
U R L	http://www.mgs.co.jp/

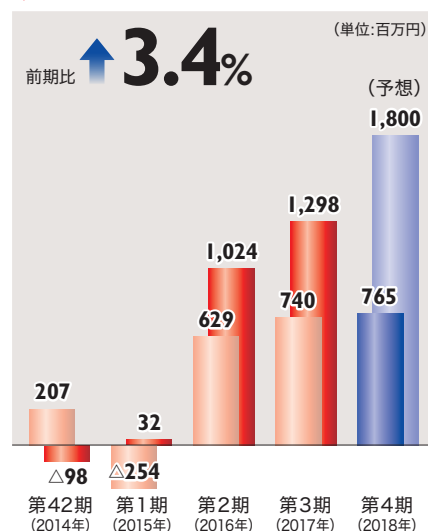
◆ 売上高



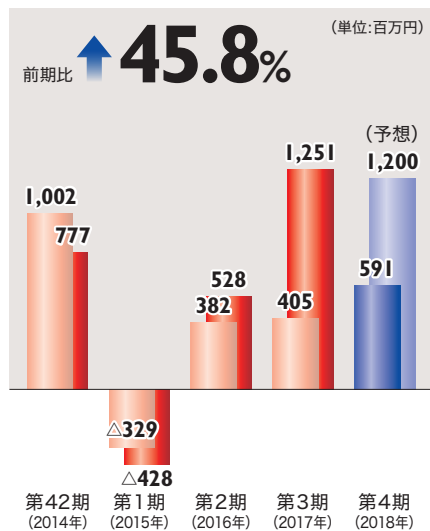
◆ 営業利益



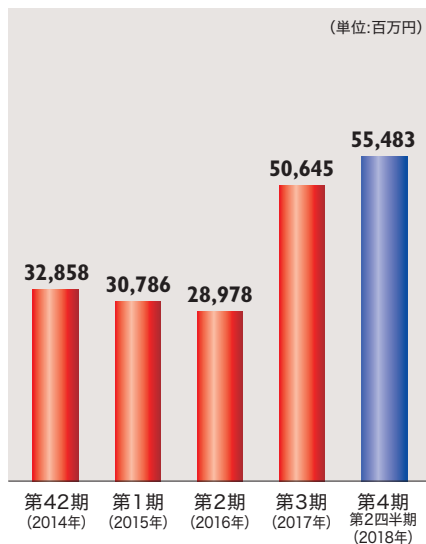
◆ 経常利益



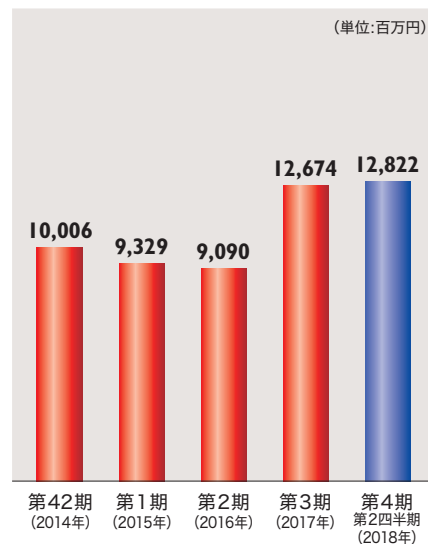
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



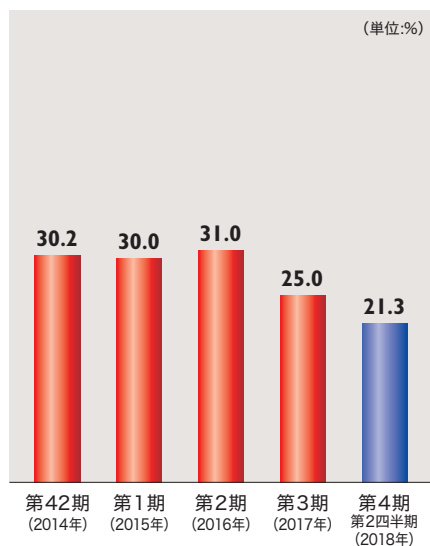
◆ 総資産



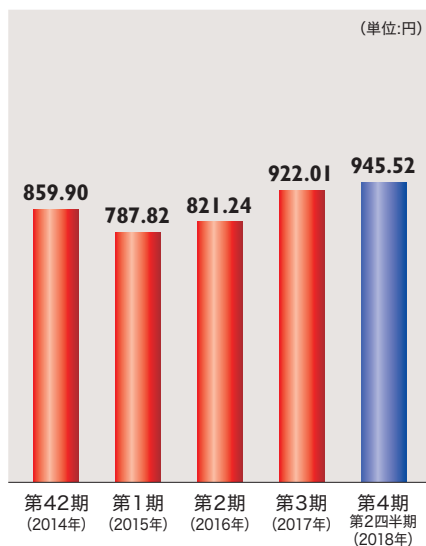
◆ 純資産



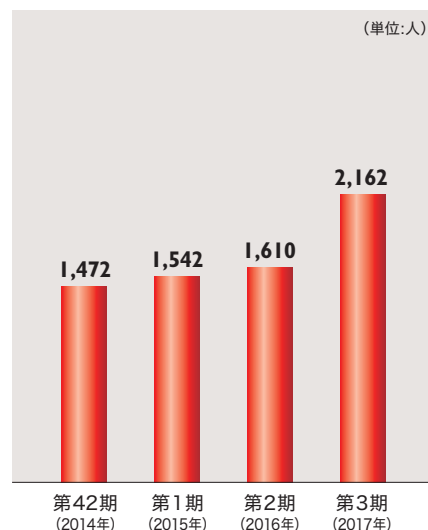
◆ 自己資本比率



◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



開示データについて

2014年12月期以前の開示データにつきましては、株式会社日本創発グループの設立に伴い上場廃止・完全子会社となった、東京リスマチック株式会社(旧証券コード7861)の財務データを表示しております。

◆ 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	前 期 2017年12月31日現在	当 期 2018年6月30日現在	科 目	前 期 2017年12月31日現在	当 期 2018年6月30日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	24,223	23,605	流動負債	25,988	29,290
現金及び預金	6,668	8,957	買掛金	3,310	3,344
受取手形及び売掛金	9,912	9,896	短期借入金	17,020	20,020
短期貸付金	4,301	313	その他	5,658	5,926
その他	3,341	4,437	固定負債	11,982	13,370
固定資産	26,422	31,878	長期借入金	8,276	8,150
有形固定資産	17,714	23,226	退職給付に係る負債	1,680	2,013
建物及び構築物	5,493	6,622	その他	2,024	3,207
機械装置及び運搬具	2,495	3,516	負債合計	37,971	42,661
土地	9,318	12,378	(純資産の部)		
その他	406	709	株主資本	12,333	11,553
無形固定資産	2,847	2,633	資本金	400	400
のれん	1,963	1,724	資本剰余金	4,899	4,926
その他	883	909	利益剰余金	7,073	7,506
投資その他の資産	5,860	6,018	自己株式	△40	△1,279
投資有価証券	4,150	3,607	その他の包括利益	314	274
その他	1,710	2,411	累計額合計		
資産合計	50,645	55,483	非支配株主持分	27	994
			純資産合計	12,674	12,822
			負債及び純資産合計	50,645	55,483

◆ 連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	前 期 2017年1月 1日から 2017年6月30日まで	当 期 2018年1月 1日から 2018年6月30日まで
売上高	17,135	24,091
売上原価	12,153	17,071
売上総利益	4,982	7,019
販売費及び一般管理費	4,260	6,347
営業利益	721	671
営業外収益	89	175
営業外費用	70	81
経常利益	740	765
特別利益	24	358
特別損失	12	174
税金等調整前当期純利益	753	949
法人税等	338	357
非支配株主に帰属する当期純利益	9	0
親会社株主に帰属する当期純利益	405	591

◆ 連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

科 目	前 期 2017年1月 1日から 2017年6月30日まで	当 期 2018年1月 1日から 2018年6月30日まで
当期純利益	414	591
その他有価証券評価差額金	60	△15
繰延ヘッジ損益	△2	△0
退職給付に係る調整額	△0	△23
その他	—	0
その他の包括利益合計	57	△39
包括利益	472	552

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	前 期 2017年1月 1日から 2017年6月30日まで	当 期 2018年1月 1日から 2018年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,447	1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,144	△1,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,850	1,601
現金及び現金同等物の増減額	1,150	2,273
現金及び現金同等物の期首残高	2,598	6,663
現金及び現金同等物の期末残高	3,704	8,937

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2018年1月1日から6月30日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純 資 産 計 合
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 計 合	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退 職 給 付 に 係 る 調 整 額 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	400	4,899	7,073	△40	12,333	268	△2	47	314	27	12,674
当期変動額											
剰余金の配当			△158		△158						△158
親会社株主に帰属する当期純利益			591		591						591
自己株式の取得				△1,258	△1,258						△1,258
自己株式の処分		26		19	45						45
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△15	△0	△23	△39	967	927
当期変動額合計	—	26	432	△1,239	△780	△15	△0	△23	△39	967	147
当期末残高	400	4,926	7,506	△1,279	11,553	253	△2	23	274	994	12,822

■ 会社概要

商 号	株式会社日本創発グループ
英 文 商 号	JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事 業 内 容	傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務
設 立 年 月 日	2015年1月5日
本 社 所 在 地	〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資 本 金	400,000,000円
決 算 期	12月31日
会 計 監 査 人	PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関	みずほ銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数	2,162名(2017.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士	荒山國雄法律事務所

■ 役 員

代表取締役会長	林 吉男
代表取締役社長	藤田 一郎
取締役副社長	吉村 和敏
取 締 役	鈴木 隆一
取 締 役	寺澤 眞一
取 締 役	鈴木 俊郎
取 締 役	菊地 克二
取 締 役	植村 智幸
取締役 監査等委員	野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員	大塚 利百紀(社外)
取締役 監査等委員	寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員	篠崎 祥子(社外)

■ 株式情報

証 券 コ ー ド	7814
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	13,817,934株
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行
決 算 期	12月31日
定 時 株 主 総 会	3月

◆ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チ ャ ッ ク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、
お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、
企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、
言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、
その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを
鍛えながら、お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みや
お困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、
丁寧に、一所懸命に追求します。

多 様 性 の 底 力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、
切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性を
いっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新 し い カ タ チ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル
技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチで
ターゲットの心に刻みつけていきます。

良 き 市 民

私たちは、良き市民として、
お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に
対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

株主メモ

事 業 年 度	1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公 告 方 法	電子公告 URL: https://www.jcpag.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711 (フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。URL <https://www.jcpag.co.jp/>

日本創発グループ

検索

